

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成22年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立八ヶ岳少年自然の家	所管課	社会教育課
所在地	北杜市高根町清里3545	設置年月日 (改築年月日等)	昭和48年8月 (平成18年3月大規模改修)
管理方式	指定管理者(公益財団法人山梨県青少年協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立少年自然の家設置及び管理条例		
設置目的	①自然の中で、集団生活を通じて自律、協同などを体験的に学習する場を提供すること。 ②各種事業の実施を通じて、豊かな自然の中で情操を養い心身共にたくましい少年を育成する機会を提供すること。		
主な施設内容 (定員等)	宿泊室 26(8人用20室、10人用4室、5人用2室) 食堂(204人)、乾燥室1、講堂(200人)、プラネタリウム(50人)、体育館1 研修室3(30人用1室、40人用1室、50人用1室)、クラフト室2(40人用2室) キャンプ場(180人)		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用の承認に関する業務 ○ 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ○ 集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 ○ 野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 ○ 体育、レクリエーション及び野外活動に関する業務 		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	(1) 山梨県立愛宕山少年自然の家:定員150人:H22利用人数16,985人 (2) 山梨県立なかとみ青少年自然の里:定員108人:H22利用人数8,744人 (3) 山梨県立ゆずりはら青少年自然の里:定員100人:H22利用人数9,908人
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (目標値)
利用者数	宿泊棟利用	31,719	28,094	30,300	
	キャンプ場宿泊利用	5,438	4,196	4,762	
	日帰り利用	1,605	2,664	2,191	
	利用者数合計	38,762	34,954	37,253	
	目標値	38,400	38,600	38,800	38,400
	目標値設定の考え方	平成19年度目標 値の2.2%増	平成20年度目標 値の0.5%増	平成21年度目標 値の0.5%増	平成22年度目標 値の0.5%増の値 から、震災・計画 停電による4月 キャンセル分を 勘案し調整
	対20年度比	100.0%	90.2%	96.1%	99.1%
宿泊室稼働率	44.1%	40.1%	41.6%		
定員稼働率	53.6%	47.1%	51.2%		

4. 収支状況

単位:円、%

		平成21年度	平成22年度 (計画値)	平成22年度 (実績値)	平成23年度 (計画値)
収入	施設利用料	3,283,000	3,902,000	3,793,000	3,921,000
	指定管理者委託料	97,870,000	97,440,000	97,440,000	97,570,000
	その他	1,514,000	2,285,000	2,038,000	3,121,000
	収入合計(A)	102,667,000	103,627,000	103,271,000	104,612,000
支出	人件費	60,027,000	62,449,000	55,273,000	62,846,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	40,623,000	41,178,000	45,907,000	41,766,000
	(うち外部委託費)(B)	13,289,000	13,022,000	11,180,000	13,022,000
	支出合計(C)	100,650,000	103,627,000	101,180,000	104,612,000
収支差額(A-C)		2,017,000	0	2,091,000	0
外部委託比率(B÷C)		13.2%	12.6%	11.0%	12.4%
利用者一人当りの経費		2,800	2,511	2,616	2,541

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成22年4月～23年3月 実施方法:宿泊利用団体へのアンケート 回答数:230団体
-------	--

単位:%

調査項目	満足・十分	ほぼ満足	やや不満	不満
①ねらい、目的の達成	68.0%	31.0%	1.0%	0.0%
②申込から利用までの手続	71.8%	25.7%	2.5%	0.0%
③安全性	68.3%	27.7%	3.5%	0.5%
④職員の態度・対応	84.5%	15.5%	0.0%	0.0%
⑤活動の指導内容	84.5%	15.5%	0.0%	0.0%
⑥食事、弁当の内容	62.6%	30.0%	6.9%	0.5%
各項目の平均	73.3%	24.2%	2.3%	0.2%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・広大な自然の中で思う存分活動することができ、子ども達も大変満足していた。 ・体験プログラムの内容が充実していて素晴らしい。 ・体験プログラムが、早く終わってしまい時間が余ってしまった。 ・食堂のテーブル間の通路が狭い。 ・プログラム相談の内容が他校との間で活かされなかった。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラムの内容、時間配分についてはプログラム相談で説明し、他のプログラムとの併用等を検討する。 ・食堂の利用人数にあわせ、可能な場合はテーブルの移動等も検討する。 ・プログラム相談時の再確認と当日16:30からの利用団体打合会で再確認をする。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	本館、キャンプ場、敷地内設備等の状況を把握し、確実に点検整備を実施した。 各種保守管理関係についても、法令等を遵守し、業務計画のとおり執行した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。
運営業務	利用者の立場に立ち、利便性、快適性や効果を十分に考慮して執行した。	事業報告書及び現地確認の結果、適正に実施されている。 利用者の利便性、快適性を常に念頭に置き、サービスの向上に努めている。
自主事業	派遣事業で、対象者に仲間づくりのノウハウを提供でき、派遣した職員の資質向上と自己研鑽にも繋がった。	青少年育成講師派遣事業のほか、飲料、クラフト材料、炊事用薪等の販売を行い、利用者の利便性向上に努めた。
利用状況	東日本大震災による宿泊利用者のキャンセルが多発した。しかし、連泊利用の増加もあり宿泊利用者数は増加した。今後もさらに利用の増加を目指して取り組みたい。	震災までの実績では、順調な利用者数の伸びが見られた。今後もリピーターを確保するとともに、積極的なPR活動等により、施設の認知度を高め、利用者増加に向けて努力されたい。
収支状況	支出項目により対計画比に差があるが、全体的にはほぼ計画通り執行できた。	施設の老朽化もあり修繕に要する経費が増加するなかで経費節減に努めていることは評価できる。
利用者満足度	各項目とも概ね90%以上の満足度を頂いている。 利用者からの要望・意見等については、職員会議等において検討の上、早急に対応を行った。	利用者ニーズの把握に努め、管理運営に反映させるよう指導した。運営上の工夫で解決可能な意見については速やかな対応がなされた。
運営目標の達成状況		○H22 利用者数目標値 38,800 実績 37,253 ○H22 主催事業参加者数目標値 2,600 実績 2,752 ○東日本大震災後の計画停電等の影響により春休み利用が全てキャンセルになり、利用者数は目標値に届かなかった。 ○主催事業参加者数については、予定定員数を上回る事業があった。
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	現地確認をしたところ、施設内外とも管理がよく行き届いていた。 維持管理業務・運営業務については、適正に実施されており、利用者満足度調査における評価も良好であった。 今後も、経費節減、費用対効果に留意しつつ、利用者の安全確保、体験プログラムの充実等に努力すること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	他県の自然体験施設で発生した事故を受け、安全対策マニュアルに「悪天候における野外活動全般の対応」項目を追加。活動中の事故防止対策や万が一の際の対応等について、全職員に徹底を図っている。また、東日本大地震の発生を受け、地震の発生から避難までの行動や注意点について分かりやすく記したフローチャートを作成し、利用団体に活用頂いている。体験プログラムについては、低学年児童対応のプログラムを研究し、主催事業にタイニーキャンプを追加した。	

7. 管理体制(組織図)

